

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札
 コード番号 3136 URL <https://www.eco-nos.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 長谷川 勝也
 問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 新行内 宏之（TEL）011-875-1996
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,058	4.8	103	38.1	82	44.9	104	137.1
2022年3月期第2四半期	1,964	5.0	75	90.4	57	244.0	44	△30.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	79.73		79.46					
2022年3月期第2四半期	34.49		34.30					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,784	604	21.7
2022年3月期	2,862	497	17.4

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 604百万円 2022年3月期 497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,010	0.9	152	△3.2	106	△6.6	119	12.5	90.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	1,318,748株	2022年3月期	1,314,428株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	289株	2022年3月期	289株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	1,316,699株	2022年3月期2Q	1,283,609株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の断続的な拡大に影響を受けながらも社会経済や個人消費活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、米国をはじめとする先進諸国の金利上昇により急速な円安が進行していることやロシアによるウクライナへの軍事侵攻等によりエネルギー価格をはじめとした物価の上昇が進んでいることもあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社においては前年度に引き続き趣味性の高い商品の販売が好調に推移したこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少していた衣料品等の売上が復調してきたこと、インターネット販売を継続して強化したこと等により売上高は好調に推移しました。さらに、コストコントロールの徹底にも努めたことにより、前事業年度を大きく上回る利益を確保することができました。

また、第1四半期会計期間において関係会社株式の売却による特別利益36,122千円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,058,833千円（前年同期比4.8%増）、営業利益103,976千円（前年同期比38.1%増）、経常利益82,658千円（前年同期比44.9%増）、四半期純利益104,986千円（前年同期比137.1%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

(リユース事業)

リユース事業におきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらした巣ごもり消費の拡大による本など一部商品の販売増加については落ち着きをみせたものの、楽器・ホビー関連などの趣味性の高い商品の販売が前年度に引き続きたいへん好調に推移したこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していた衣料品等の売上についても回復してきたこと、インターネットによる販売も順調なこと等により既存店の売上高が前年同期比105.3%と好調に推移しました。また、リユース品の買取についても、店頭買取が好調であったことに加え、出張買取を強化したこと等もあり、前年同期比106.8%と好調に推移しました。なお、当事業年度より本格的に開始しました家財整理事業を本セグメントに含んでおります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高2,056,996千円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は217,867千円（前年同期比11.6%増）となりました。

当第2四半期会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下のとおりであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	15	17	16	1	49	66

(注) ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

(その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とグリーン住宅ポイントの商品交換事業を含んでおりますが、グリーン住宅ポイントの商品交換事業については、商品交換申込の受付は2022年2月をもって終了し、商品交換についても2022年4月に完了しました。また前事業年度において本セグメントに含んでいたiPhoneの修理等を行うリペア事業については、2021年7月に終了しております。

以上により本セグメントの当第2四半期累計期間の業績は売上高1,837千円（前年同期比83.2%減）、セグメント利益1,337千円（前年同期比83.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、1,708,483千円となり、前事業年度末と比べて55,084千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少117,857千円及び商品の増加62,794千円によるものです。

また、当第2四半期会計期間末における固定資産は、1,076,364千円となり、前事業年度末と比べて22,344千円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の減少18,693千円によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、888,818千円となり、前事業年度末と比べて160,844千円の減少となりました。これは、主に短期借入金の減少100,000千円、賞与引当金の減少22,760千円及び未払法人税等の減少18,894千円によるものです。

また、当第2四半期会計期間末における固定負債は、1,291,711千円となり、前事業年度末と比べて23,220千円の減少となりました。これは、主にリース債務の減少17,545千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、604,318千円となり、前事業年度末と比べて106,636千円の増加となりました。これは、主に四半期純利益104,986千円の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前事業年度末に比べ117,857千円減少し、631,919千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は25,043千円（前年同四半期比55.3%）となりました。これは、税引前四半期純利益118,781千円に対し、減価償却費35,158千円等の増加と、棚卸資産の増加62,794千円、関係会社株式売却益36,122千円等の減少があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は23,248千円（前年同四半期比858.2%）となりました。これは、主に関係会社株式の売却による収入36,155千円及び有形固定資産の取得による支出10,646千円があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は116,061千円（前年同四半期比261.6%）となりました。これは、主に短期借入金の減少100,000千円があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年11月10日公表の「2023年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,776	631,919
売掛金	112,414	118,713
商品	843,679	906,473
前払費用	50,331	48,533
その他	7,366	2,844
流動資産合計	1,763,568	1,708,483
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	334,875	321,117
その他（純額）	352,626	347,690
有形固定資産合計	687,501	668,807
無形固定資産	1,380	1,380
投資その他の資産		
敷金	283,260	283,153
その他	126,567	123,023
投資その他の資産合計	409,827	406,176
固定資産合計	1,098,709	1,076,364
資産合計	2,862,278	2,784,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,037	7,334
短期借入金	450,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	276,669	285,341
リース債務	42,152	43,742
未払金	60,890	46,796
未払費用	72,895	72,946
未払法人税等	40,078	21,184
未払消費税等	37,610	26,937
契約負債	5,427	5,612
ポイント引当金	2,657	2,637
賞与引当金	42,219	19,459
その他	5,024	6,826
流動負債合計	1,049,663	888,818
固定負債		
長期借入金	641,163	636,951
リース債務	477,207	459,662
長期末払金	34,519	30,494
退職給付引当金	62,789	65,282
資産除去債務	96,702	97,036
その他	2,549	2,284
固定負債合計	1,314,932	1,291,711
負債合計	2,364,596	2,180,530

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,126	335,903
資本剰余金	283,453	284,230
利益剰余金	△129,084	△24,097
自己株式	△164	△164
株主資本合計	489,330	595,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,351	8,445
評価・換算差額等合計	8,351	8,445
純資産合計	497,682	604,318
負債純資産合計	2,862,278	2,784,848

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,964,980	2,058,833
売上原価	630,947	658,425
売上総利益	1,334,033	1,400,407
販売費及び一般管理費	1,258,745	1,296,431
営業利益	75,287	103,976
営業外収益		
受取配当金	557	604
受取手数料	4,090	3,474
預り金失効益	4,000	-
その他	5,296	4,488
営業外収益合計	13,944	8,566
営業外費用		
支払利息	32,090	29,572
その他	102	312
営業外費用合計	32,192	29,885
経常利益	57,039	82,658
特別利益		
関係会社株式売却益	-	36,122
特別利益合計	-	36,122
特別損失		
投資有価証券評価損	2,801	-
特別損失合計	2,801	-
税引前四半期純利益	54,237	118,781
法人税、住民税及び事業税	10,352	9,114
法人税等調整額	△386	4,680
法人税等合計	9,965	13,794
四半期純利益	44,272	104,986

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	54,237	118,781
減価償却費	35,821	35,158
長期前払費用償却額	1,100	1,100
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△36,122
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,801	-
受取利息及び受取配当金	△558	△605
支払利息	32,090	29,572
売上債権の増減額 (△は増加)	△96,606	△6,299
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△41,383	△62,794
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,705	△6,148
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,915	△10,673
未払金の増減額 (△は減少)	△11,171	△14,093
未払費用の増減額 (△は減少)	△31	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,152	△22,760
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,205	△19
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,120	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,107	2,492
その他	△1,000	2,326
小計	△13,193	29,937
利息及び配当金の受取額	558	605
利息の支払額	△32,124	△29,436
法人税等の支払額	△4,292	△26,150
法人税等の還付額	3,788	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,263	△25,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,701	△10,646
投資有価証券の取得による支出	△144	△209
関係会社株式の売却による収入	-	36,155
その他	6,554	△2,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,709	23,248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	38,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△161,223	△145,539
長期未払金の返済による支出	△1,708	△1,224
リース債務の返済による支出	△19,435	△20,852
ストックオプションの行使による収入	-	1,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,367	△116,061
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△86,921	△117,857
現金及び現金同等物の期首残高	647,871	749,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	560,949	631,919

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症による当社事業への影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	リユース 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,954,050	1,954,050	10,929	1,964,980	-	1,964,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,954,050	1,954,050	10,929	1,964,980	-	1,964,980
セグメント利益	195,173	195,173	8,245	203,418	△128,131	75,287

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、2021年7月に終了したリペア事業、2021年6月より開始したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△128,131千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	リユース 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,056,996	2,056,996	1,837	2,058,833	-	2,058,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,056,996	2,056,996	1,837	2,058,833	-	2,058,833
セグメント利益	217,867	217,867	1,337	219,205	△115,228	103,976

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び2022年4月に終了したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△115,228千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりです。

前第2四半期累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

事業区分別の内訳

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	リユース 事業	計		
ブックオフ	590,001	590,001	-	590,001
ハードオフ	390,211	390,211	-	390,211
オフハウス	553,492	553,492	-	553,492
ホビーオフ	327,988	327,988	-	327,988
ガレージオフ	14,318	14,318	-	14,318
ロジスティクス事業	39,989	39,989	-	39,989
3R事業	38,048	38,048	-	38,048
その他	-	-	9,151	9,151
顧客との契約から生じる収益	1,954,050	1,954,050	9,151	1,963,202
その他の収益	-	-	1,778	1,778
外部顧客への売上高	1,954,050	1,954,050	10,929	1,964,980

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、2021年7月に終了したリペア事業、2021年6月より開始したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

当第2四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
事業区分別の内訳

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	リユース 事業	計		
ブックオフ	578,570	578,570	-	578,570
ハードオフ	422,052	422,052	-	422,052
オフハウス	593,411	593,411	-	593,411
ホビーオフ	366,735	366,735	-	366,735
ガレージオフ	15,288	15,288	-	15,288
ロジスティクス事業	45,646	45,646	-	45,646
3R事業	35,289	35,289	-	35,289
その他	-	-	59	59
顧客との契約から生じる収益	2,056,996	2,056,996	59	2,057,055
その他の収益			1,778	1,778
外部顧客への売上高	2,056,996	2,056,996	1,837	2,058,833

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び2022年4月に終了したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。